

令和4年度行政評価 事務事業評価シート(令和3年度実績)

事務事業コード	020102010	予算コード	01049210	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	A
事務事業名	学校安全緊急対策事業	正規職員数	0.35	国庫支出金	0	有効性	A	引続き、市内13小学校の正門、あるいは通用門脇の受付室に受付員を常駐させ、来訪者の確認を行い、不審者発見時通報を行うことが必要である。 児童生徒が巻き込まれる事件や事故が多発する中、保護者のニーズも学校の安全対策に対する要望が増えてきている。学校敷地内だけでなく、通学路等の対策も含めスクールガードリーダーの増員も含めて検討が必要である。	
担当課	学校教育課	嘱託職員数	0	府支出金	1,063	効率性	B		
根拠法令等	市単独事業	臨時職員数	0.05	市債	0	妥当性	A		
		歳出(千円)		その他	0	受益者負担	該当なし		
		人件費総額	2,783	一般財源	17,787				
				減価償却費	0				
事務事業類型	運営事業	フルコスト(千円)	18,850	緊急性	A	事務事業実施内容			
実施手法	一部委託	市民1人当たりコスト(円)	191			市内13小学校の正門、あるいは通用門脇の受付室に受付員を常駐させ、来訪者の確認を行い、不審者発見時通報を行う。			
対象		活動指標		R3実績	公的関与	A			
特定の市民	対象数	5059	のべ配置人数	3,887.0		実施主体・委託化	B		
市内13小学校の児童及び教職員						他の事務事業との関連	A		
事業の内容	市内13小学校の正門、あるいは通用門脇の受付室に受付員を常駐させ、来訪者の確認を行い、不審者発見時通報を行う。 スクールガードリーダーによる学校の巡回指導と評価等の実施を行う。	成果指標		R3実績	透明性	該当なし			
		のべ配置日数	2,652.5		財政健全化計画	該当なし			
					財政健全化の取組	該当なし			
					改革改善プラン達成度	該当なし			
事業の目的	小学校において、学校安全管理マニュアルに基づき、来校者のチェック、不審者発見時の通報を行うための要員の配置を行い、学校生活の安全を守る。 学校や通学路における子どもの安全確保を図る。	コスト指標		R3実績					
		対象者1人当たりの経費	3,726.0						